



やるき  
ほんき き き さ き

# 木佐木

神奈川議会議員  
日本共産党

2023.12.6  
木佐木ただまさ news  
発行：党横浜北東地区委員会  
横浜市鶴見区潮田 3-147-6  
TEL：045-511-1021

Profile  
▶1984年 山崎県出身  
▶鶴見区馬場在住  
▶神奈川大学法学部卒  
▶よこはま健康友の会会長  
▶横浜東民商顧問

## 鶴見区内の消防署・出張所を巡る



鶴見区内の消防署・出張所を視察しました

### 古谷市議が毎年のように視察し改善

11月28日、鶴見の防災や災害時の要となる消防施設や隊員の環境について古谷市議と視察に回りました。古谷市議はコロナ禍前には毎年のように回り、トイレや浴室の改善要望などを聞き取る中で少しずつ改善を図ってきたそうです。

区内の消防署や出張所の多くは40年以上経つ建物であり使い勝手が悪かったり、改修が必要な箇所がたくさんあるのではと思い視察に臨みました。

### 女性隊員が配置できる施設が少ない

年季の入った出張所では、一回に女性トイレがなかったり、宿直室のベッドがカーテンで仕切られているだけだったり、女性隊員を配置できるような環境でないところもありました。

一方で、区内で最も新しい2003年に建てられた駒岡出張所は、女性隊員専用の宿直室があり、

そこではユニットバスが備えられ、自室でお風呂に入ることも可能な配慮がされていました。

出張所長さんは、女性隊員が配置されることで、「隊員のジェンダー平等への意識の高まりや女性目線での活動の提案があるなど大きな効果がある」と話されており、女性の活躍の場を広げていくためにも環境整備を進める必要性を改めて目の当たりにしました。

### 当局が課題を認識することが大事

古谷市議が数年ぶりに視察して驚いていたのは、逆流するトイレが直っていたり、カビだらけだった浴室が綺麗になっていたことでした。現場が要望を上げていてもなかなか予算が措置されないこともあると思います。そんなときに、議員が視察することで当局も調査しないわけにいかず、悲惨な状況を目の当たりにして改善につながる。大きな会派でなくても、議員として動かすことができると実感する視察となりました。

県立施設も見て回り、利用者も職員も使いやすい施設になるよう取り組んでいきたいと思っています。



視察の様子はYouTubeでご覧いただけます⇒

